

油圧プレス 10トン

取扱説明書

品番 UPA-10

【※ご使用前に必ずご一読ください※】

この度は、KIKAIYA「油圧プレス 10トン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

*故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

*調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(製品改良の為、予告なく仕様変更をする場合がございます)

■開封時

開封したらすぐに中身(動作)を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身(動作)をご確認ください。

■注意事項

- 使用前には取扱説明書を熟読し本製品の使用方法をよく理解してから使用してください。
- 本製品の分解・改造はしないでください。修理技術者以外の方は絶対に分解や修理はしないでください。
- 本製品使用前には、必ず各ネジに緩み等の異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 使用目的以外では使用しないでください。事故や怪我の原因になります
- 能力以上の重さをかけないでください。事故や怪我、本体破損の原因となります
- 偏荷重にならないように常に注意し、本体の傾きを感じた場合は直ぐに使用を中止してください。
- 使用中は、ベッドフレーム・ブロックに手を近づけないでください。事故や怪我の原因になります。
- プレス中(圧縮中)にベースプレートを動かさないでください。
- 点検・メンテナンスの前には負荷を解放してから行ってください。
- 製品が転倒しないように使用前には床にボルトで固定するなど、転倒防止措置をしてください。
- ブロックを置く場合は、ベッドフレーム上はきれいに保ちます。ブロックが障害物の上にあるとプレスが不均一になり、製品に過度のストレスが発生し製品が破損する可能性があります。
- 各部の損傷や異常がある場合は、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 必ず固く平らで傾斜のない床面で使用してください。不安定な床面、雨が降っている中での作業や、湿った場所や濡れた場所では使用しないでください。
- 高温・直射日光下では使用しないでください。
- 作業場所は明るく清潔に保ち、整理・整頓された場所で作業をしてください。
- 作業中は作業に適した服を着用し、だぶだぶの衣服やネックレス等の装飾品は周囲に引っかかり怪我をする恐れがありますので着用しないでください。
- 作業中は安全のため、保護具(安全ゴーグル、安全手袋、安全靴等)を着用し作業を行ってください。
- 作業員以外は作業場に近づかないでください。特に子供は危険な行動をとることがあるので近づけないよう、十分に注意してください。
- 取扱説明書に記載されている注意事項および指示は、発生する可能性のある全ての条件および状況を網羅しているわけではありません。

■仕様

| | |
|------------|--|
| 商 品 名 | 油圧プレス 10トン |
| 品 番 | UPA-10 |
| 能 力 | 10トン |
| サ イ ズ | 高さ 1610×幅 700×奥行 555mm 台座高さ調整 7段階調整(125mm 刻み) |
| シリンダーストローク | 135mm |



■使用上の注意



【圧カゲージについて】

- * 圧カオイルが入った状態でお届けいたします。
- * 圧カゲージ内にオイルが入っている状態が正常です。

■使用方法

- 初回使用時には必ずジャッキのエア抜き作業を行ってください。(下記図を参照)
- 油圧シリンダーは限界線を超えないよう気をつけて使用してください。
- 能力(10トン)以上で使用はしないでください。
- 組立ては必ず2人以上で行ってください。(分解図を参考に、所要時間約20分)

⚠️ ご使用前に エア抜き作業を行って下さい

エア抜き方法

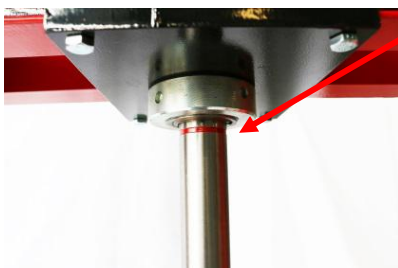
1. ①のオイルタンクのオイル注入口を少し緩めて通気します。
※油圧ポンプ(大)は形状が異なる為、オイル注入口を緩める必要ありません。
2. 次に、②のリリースバルブを緩め(下降の状態)ポンプアップを10回程行います。



3. 通常通り②のリリースバルブを締めてポンプアップします。
 4. うまく作動しない場合は、上記2と3の動作を2~3回繰り返して下さい。
- ※①の通気孔は緩めた状態でご使用して頂くと、100%の能力を発揮出来ます。
又、移動時は締めて下さい。油もれの原因となります。

■限界線について

油圧シリンダーのストローク部分には限界線(赤線)が引いてありますので、限界線を超えないでください。



■ パーツリスト・分解図

| 番号 | 名称 | 個数 |
|----|------------|----|
| 1 | 圧力計 | 1 |
| 3 | ラム | 1 |
| 4 | 丸ナット | 1 |
| 5 | カップリング | 1 |
| 6 | 上部クロスビーム | 2 |
| 7 | ボルト M12×30 | 8 |
| 8 | プレスブロック | 2 |
| 9 | ポスト | 2 |
| 10 | ワッシャー M12 | 8 |
| 11 | ナット M12 | 8 |
| 12 | ロッド | 2 |
| 13 | ベース部 | 2 |
| 14 | ナット M12 | 4 |
| 15 | ワッシャー M12 | 4 |
| 16 | クロスメンバー | 1 |
| 17 | ボルト M12×30 | 4 |
| 18 | ボルト M12×30 | 2 |
| 19 | ブロック | 2 |
| 20 | 下部丸ナット | 1 |
| 21 | 下部プレート | 1 |
| 22 | ボルト | 4 |
| 23 | ボルト | 2 |
| 24 | ホース | 1 |
| 25 | ポンプ | 1 |
| 26 | ポンプ受け台 | 1 |
| 27 | ワッシャー M12 | 2 |
| 28 | ナット M12 | 2 |
| 29 | ボルト M8×15 | 3 |
| 30 | ベッドフレーム | 1 |
| 31 | ボルト M10×25 | 8 |
| 32 | ナット M10 | 8 |
| 33 | ワッシャー M10 | 12 |
| 34 | サポートバー | 4 |

